

Waseda Formula Project

October 2025

10

特集:新体制発表

早稲田大学
学生フォーミュラチーム
ニュースレター

新チームリーダー声明/総会報告/SUBARU SKC試走会
本田技研工業株式会社様主催応用講座/株式会社FCC様ご支援



チーム構成



全体統括

チームリーダー



B4 稲葉 摩人
会長



佐藤真

サブリーダー

B2 狩野 貴裕

テクニカルディレクター

B4 大和田 龍

アドバイザー

藤井 裕斗
鷲尾 拓哉
荒井 貴裕
相川 浩範

製作班リーダー

フレーム班



M1 井上 遼

パワートレイン班



M1 千原 丈

サスペンション班



M1 内田 直希

エアロ班



B4 大和田 龍

メンバー

M1

長田 知己
西尾 渉
内田 直希
千原 丈
井上 遼

B4

大和田 龍
稲葉 摩人
関 慶太
秋山 凛咲
加藤 貴晃

B3

明比 達也
只野 陽向太
藤原 光瑠
山崎 嘉乃
細井 敬哲

B2

狩野 貴裕
近藤 尚哉
中村 泰正
水戸 彩葉

B1

内田 拓海
後河内 琢磨
香村 純花
豊田 雄介
平野 舜介
平井 伶於奈
姫野 惇
竹本 伊織
岡原 拓音
足立 純也
大塚 海斗

松本真慧
小林悠真
小玉 耀介
吉田峻太朗
佐々木将博
齊藤瑠来
加藤慧
山本飛羽
松本寅央

1.

新チームリーダー声明



平素よりWaseda Formula Projectの活動に多大なるご支援、ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。2026年プロジェクトにてチームリーダーを務めます、稲葉 摩人です。昨年度のWFP2025プロジェクトでは、マシンポテンシャルを大幅に向上させることに成功しました。しかし、大会本番ではトラブルの発生やペナルティにより、そのポテンシャルを結果としてお見せすることができず、チーム全員が非常に悔しい思いをいたしました。その悔しさを胸に、本年度WFP2026は「オートクロス1位 & ICVクラスTop5」という高い目標を掲げました。この目標達成のため、昨年度の課題であった「組織力」を抜本的に見直し、上級生がチーフ

として下級生リーダーを導く新体制へと移行しました。私自身も、これまでのレース経験をチームに還元し、サブリーダーの狩野と共に、チームが持つ力を最大限発揮するモチベーターとして、組織力の向上を牽引してまいります。コンセプトである「Powerful & Quick」なマシンを必ずや完成させ、今年こそ皆様のご期待に応える結果をお見せできるよう、チーム一丸となって尽力する所存です。今年度もWaseda Formula Projectへのご指導ご鞭撻、そして変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます

(文責：B4 稲葉 摩人)

2.

新体制発表



WFP2025-2026の新体制では、チームの最終目標である「総合優勝」の達成に向け、2026シーズンは「オートクロス1位」および「ICVクラス Top 5」を目標に掲げました。この目標達成のため、チーム体制が大幅に変更されています。最大の変更点は、従来の「チームリーダー」の概念を撤廃したことです。新体制では、チームリーダー（B4 稲葉）がプロジェクト全体を俯瞰し、最終意思決定とチームの方向性提示、モチベーション管理に専念します。実際のスケジュールや会計などの管理業務は、マネジメントチーフ（B3 只野）が統括し、サブリーダー兼幹事長（B2 狩野）がこれを補佐します。製作班も改革され、B4以上の上級生が「チーフ」（責任者）として各班の指導

育成を担い、実働を担う「リーダー」と協力する共同体制を確立しました。これにより、ノウハウの継承強化を目指します。また、トラブル事例などを文書化するデータベース構築も進めてまいります。さらに、スポンサーの皆様との連携や広報活動を専門に行う「PR班」が新たに設置され、体制強化を図りました。車両開発コンセプトは「Powerful & Quick」を掲げ、ロガーデータを活用した「データ駆動開発」の確立を目指します。今年度もチーム一丸となって精進してまいりますので、引き続き温かいご支援とご声援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

（文責：B2 狩野 貴裕）

3.

WFP総会報告



10月5日(日)、早稲田大学にてWFP総会を開催いたしました。本総会では、まず2025年度の活動報告を行い、設計・製作・試走会・大会の各段階で得られた成果や課題を共有しました。製作時期の前倒しやシェイクダウンの早期実施など進展があった一方で、試走会ではトラブルによって十分に走行を重ねられず、大会でも掲げていた目標を達成することはできませんでした。しかしながら、これらの経験を次年度以降の成長へとつなげていくための反省と学びを整理する貴重な機会となりました。続いて、2026年度に向けた新体制と活動方針について発表を行いました。今年度は「持続的に成長可能なチーム体制」を大きなテーマとし、各製作班における責任者と実働リーダーの二重体制を導入するなど、後輩育成と知識の継承を重視

した仕組みづくりが進められています。また、新たにPR班を設置し、スポンサー様や学外とのつながりをより強化する体制を整えました。そして来年度の目標として「ICVクラスTop5、オートクロス1位」を掲げ、技術的にも運営的にも高い基準を持って挑戦していくことをチーム全体で確認しました。さらに当日は、多くのOBの皆様にご参加いただき、技術面での具体的なアドバイスや活動への励ましの言葉を頂戴し、今後の車両開発や運営体制の改善に直結する大きな学びとなりました。本年度は総会を経てチームが一層団結力を増すことが出来ました。掲げた目標を達成するべく全力で活動に取り組んでまいります。

(文責：B3 藤原 光瑠)

4.

SUBARU SKC試走会



10/26日に、佐野市のスバル研究センターにて開催されたFM関東主催のスバルSKC試走会に参加しました。今回の試走会ではロールオーバーの検証を行うことを目標としていました。しかし、天候不良のため、ロールオーバー検証を行うことが難しいと判断したため、重心高の変更による車両挙動の変化の検証を行いました。ウェットな路面でも挙動がわかりやすいように、ばねの変更などを行いました。また、新人ドライバーの練習も行うことができました。最後になりますが、試走会を運営してくださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(文責：B2 近藤 尚哉)

5.

本田技研工業株式会社様主催 応用講座

10月4日、本田技研工業株式会社様主催F-SAE 応用講座に一年生部員3名で参加しました。六月に開催された基礎講座では学生フォーミュラ日本大会の大まかなレギュレーション説明やチーム、プロジェクトの円滑な運営方法の説明が主体でした。今回の応用講座ではマシンの技術的な部分に関わる事項を中心にマイスターズクラブの皆様から教えていただきました。具体的にはサスペンションの特性について、金属材料の基礎知識、フレームの製作方法などが挙げられます。半年間WFPの一員として活動し、実際の作業の経験やマシンの設計と照らし合わせることで講座内容の理解を深めることができました。本格的な設計シーズンを前に本講座に参加できたことで、マシンへの理解を深めるとともに、よりよい設計を行う基礎知識を身につけることができました。

(文責：B1 佐々木 将博)

6.

FM関東様主催 SOLIDWORKS講習会

10月25日、ダッソー・システムズ株式会社様
ご後援、関東学生フォーミュラ連盟様主催の、
秋の実践的SOLIDWORKS講習会に参加させ
ていただき、SOLIDWORKSをより一層活用
する方法を学ぶことができました。本講習会
では、設計済みのアセンブリに頻繁に生じる
エラーへの対処を中心に、拘束条件を利用し
た、製作者の意図を汲み取れる設計方法等
について学びました。春に開催していただいた
講習会では部品やアセンブリ自体の設計方法
を主に学ばせていただきましたが、本講習会
ではレベルアップしてより実践的な知識を身
につけることができました。まだまだ知識も
経験も未熟ですが、今回の講習会の学びを
チームの活動で活かしていきたいと思ひます。
今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたし
ます。お忙しい中、本講習会を開催して
いただいたダッソー・システムズ株式会社様、
関東学生フォーミュラ連盟様に改めまして感謝
申し上げます。

(文責：B1 小林 悠真)

7.

株式会社エフ・シー・シー様 ご支援

株式会社エフ・シー・シー様より、
FCCTRAC®をご提供いただきました。株式会
社エフ・シー・シー様は、二輪車、四輪車の
クラッチをはじめとした駆動系部品を中心に
開発を行っている企業様です。今回ご提供
いただきましたFCCTRAC®はカム式トルク感応
型のリミテッド・スリップ・デフであり、他
の製品に比べて軽量コンパクトなのが特徴と
なっています。2024年度大会でも使用させて
いただきました。今回は弊チームの整備不足
により、FCCTRAC®を破損させてしまったた
め、ご提供を再度お願ひしたところ、ご快諾
いただきました。また、弊チームからの技術
的な質問にも快く応じてくださいました。こ
の度は寛大なご対応をいただきましたこと、
心より感謝申し上げます。今後は頂いたアド
バイスも踏まえ、丁寧な整備を行って大切に
使わせていただきます。この度は弊チームへ
ご支援いただきましたこと、心より感謝申し
上げます。今後とも、Waseda Formula
Projectへのご支援ご声援のほどよろしくお願
ひ申し上げます。

(文責：B4 関 慶太)

Sponsors

プラチナスポンサー

SPK株式会社様
株式会社葵製作所様
KYB株式会社様
コマツ様
株式会社重松製作所様
株式会社ブリッツ様
スズキ株式会社様
タマチ工業株式会社様/有限会社クレスト様
所沢軽合金株式会社様
日本ドライケミカル株式会社様
畑野自動車株式会社様
有限会社馬場製作所様
有限会社ヤマダ様

ゴールドスポンサー

サイマコーポレーション様
ジュニアモーターパーククイック羽生様
SimScale様
関根運送株式会社様
ソリッドワークス・ジャパン株式会社様
株式会社ニシヤマ様/ 大和製衡株式会社様/ 株式会社日本風洞製作所様
日本ピストンリング株式会社様
日本ユピカ株式会社様
株式会社HAL様
米島フエルト産業株式会社様
株式会社ユニホーム卸センター様
株式会社LINK JAPAN様
株式会社レゾニック・ジャパン様

シルバースポンサー

IPG Automotive株式会社様
アルテアエンジニアリング株式会社様
株式会社アネブル様
石原ラジエータ工業所様
エヌ・エム・ビー販売株式会社様
株式会社エフ・シー・シー様
オーゼットジャパン株式会社様
有限会社CAST様
株式会社キノクニエンタープライズ様
協永産業株式会社様
協和工業株式会社様
株式会社クニ・ケミカル様
株式会社コトラ様
サカイオーベックス株式会社様
株式会社鷺宮製作所様
三研工業株式会社様
株式会社JHI様
七福金属株式会社様
SHORAI JAPAN様
住友電装株式会社様

株式会社ディクセル様
デュポン・スタイロ株式会社様
株式会社プロテクタ様
株式会社プロト様
富士加飾株式会社
株式会社ミスミ様
三菱ガス化学株式会社
株式会社Rush Factory様

個人スポンサー

OB相川 浩範 様	OB荒井 貴裕 様
OB今野 貴史 様	OB薄 功大 様
OB小河 広明 様	OB春日 浩輝 様
OB上入 慶太 様	OB小林 拓真 様
OB清谷 颯大 様	OB佐々木 大亮 様
OB佐藤 真 様	OB鈴木 峻大 様
OB鈴木 大樹 様	OB中西 聡太郎 様
OG菱沼 優花 様	OB福尾 颯太 様
OB藤井 裕斗 様	OB丸山 達也 様
OB森崎 陽平 様	OB山口 達 様
OB鷲尾 拓哉 様	

機友会会員の皆様

安部 能成 様	太田 邦博 様
岡林 正和 様	木村 真琴 様
栗林 寧 様	鈴木 一彦 様
鈴木 良治 様	高柳 博 様
田島 尚雄 様	坪田 章 様
中野 秀夫 様	広瀬 武貞 様
前田 良平 様	真下 芳隆 様
門田 和也 様	矢野 正 様
山田 真己 様	

大学機関

草鹿研究室
工作実験室
熱工学・流体・制御工学実験室
宮下研究室
早稲田機友会
早稲田大学自動車部
WASEDA ものづくり工房 (50音順)